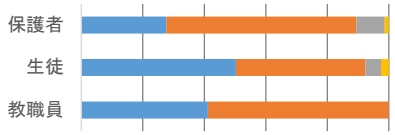
令和4年度　学校評価

■そう思う　■どちらかといえば、そう思う　■どちらかといえば、そう思わない　■そう思わない

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

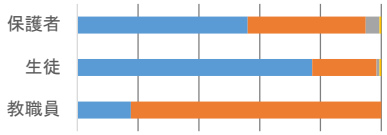
1　一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。



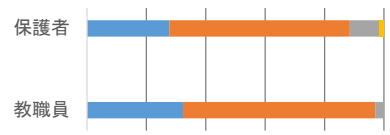
2　友達への思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。



3　道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重，思いやりなど）

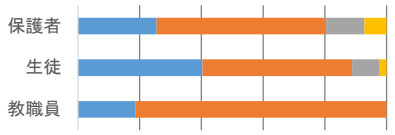


○「一人一人の生徒の尊重」では９割を超える生徒・保護者が肯定的に捉えている。今後も生徒の声に耳を傾け、認めほめ励ます指導をおこなっていく。○「友達への思いやり」では肯定的な評価がほとんどである。コロナ禍で制限がある生活ではあるが、互いに思いやりをもって生活していることが感じられる。○「道徳・心の教育の充実」ではこの数年続けて肯定的評価の割合が９割を超えている。管理職も含めたローテーション道徳の授業実践により、道徳の教材研究の質の向上が感じられる。様々な人と一緒に考える道徳の授業は生徒にも好評である。自他の存在を大切にする心の教育の充実は本校教育の根幹であり、今後とも学校全体で豊かな人間性を育む心の教育の充実を図っていきたい。

②確かな学力を育む教育の推進

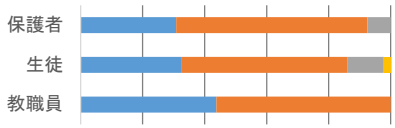
4　意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



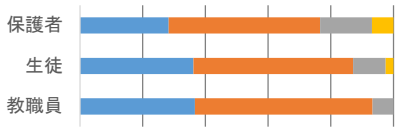
5　授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



6　タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

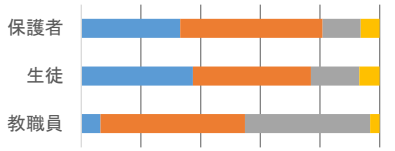


○「意欲的な学習態度」「授業力向上」「タブレット端末活用」のすべてにおいて保護者の肯定的評価が増加している。
○「タブレット端末活用」では、生徒・教職員ともに肯定的評価の割合は変わらないが、「４」の評価が減少している。単にタブレットを使用する時間だけでなく、活用の方法や内容などに意識が向いている表れではないかと感じる。今後、タブレット端末を効果的に活用し、生徒が主体的に取り組む授業づくりを目指して、校内研修の充実を図っていく。

③健やかな体を育む教育の推進

7　健康づくり

子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

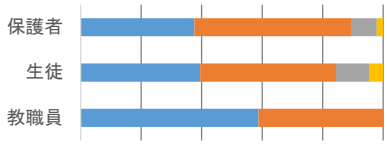


○三者ともに肯定的評価が低下している。特に教職員の「４」の少なさは、日頃の給食の残食量や、毎月のきずなアンケートの結果から見られる睡眠の少なさ等によるものであると考えられる。次年度も引き続き、学校保健委員会、学級指導、部活動、体育的学校行事の充実で改善を図っていく。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

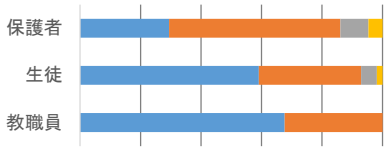
8　児童生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



9　いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

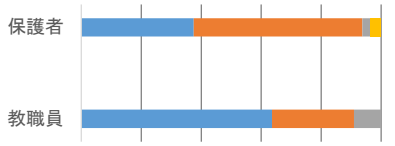


○「児童生徒理解」では保護者と教職員の「４」の評価が増えているが、生徒の「４」は減少している。
○「いじめや問題への対応」では三者とも肯定的評価が９割を超えている。
○日頃から教職員と生徒のコミュニケーションを図ったり、きずなアンケート等をもとにして素早い対応を心がけたりしている成果が表れている面もあるが、一人一人を大切にする姿勢が生徒自身に伝わるような、ほめ認める言葉かけを今後努めていく。またSC,SSW等の外部機関との連携をさらに深め、生徒や保護者の思いに寄り添った指導の充実を図る。
○否定的評価があることも真摯に受け止め、教職員の言動により信頼を損なうことがないよう生徒指導の在り方を全職員で見直し、組織対応の指導体制のより一層の確立に努める。

②特別支援教育の推進

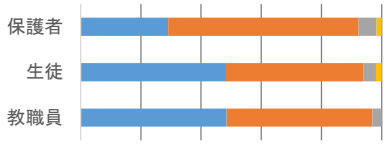
10　学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



11　共生社会を担う人材の育成

「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。

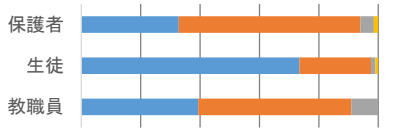


○校内支援委員会を定期的に開催し、SCやSSW等の専門家からのアドバイスをもらいながら、生徒一人一人の支援の在り方を検討し、全教職員での共通理解共通実践を行っていることが、肯定的評価の高さにつながっていると考えられる。

①子どもたちの身近な安全対策の充実

12　安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

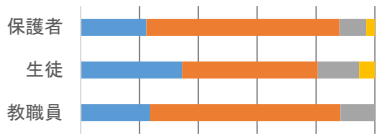


○肯定的な評価が多いものの、日頃の活動や登下校時のケガも一定数ある。活動中の安全対策とともに、自分の身を自分で守る意識の醸成や、登下校の交通事故防止の指導の徹底を図っていく。

②最適な学習環境の整備

13　施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

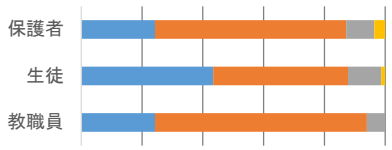


○毎月の安全点検を確実に行い、修理・改善に継続して取り組んでいるが、三者とも肯定的評価が減少している。日頃から安全点検を入念に行うとともに、早急な修繕、また事故防止の注意喚起等を継続して行っていく。

③家庭・地域社会との連携強化

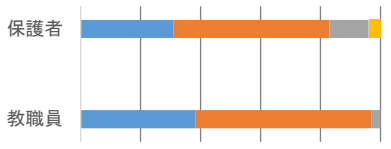
14　教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



15　家庭や地域社会との連携・協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

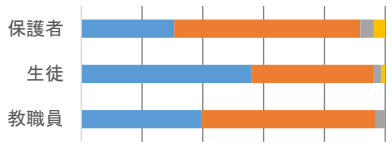


○「教育方針・目標の理解」「家庭や地域社会との連携・協力」の両方について、保護者の肯定的評価の割合が増加した。コロナ禍の状況の中で、中止や縮小をしていた学校行事や授業参観・学級懇談等が今年度は感染対策をしながらも元の形に近づいた開催ができつつある成果だろうと考えている。
○今後も生徒・保護者・地域へ、学校の情報をわかりやすく示す努力を行っていきたい。また、ＰＴＡ・青少協等との連携体制については、より良い方法を検討しながら、今後とも連携・協力体制を推進していきたい。

⑧本校の教育

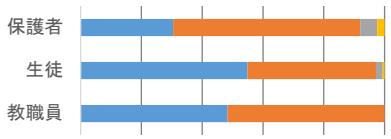
16　心の教育の充実

学校は、命を大切にする教育（道徳・人権教育・性に関する指導等）に積極的に取り組んでいると思いますか。



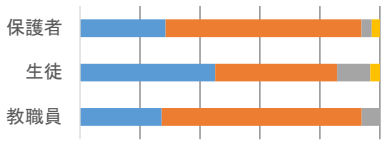
17　教科学習の充実

先生たちは、授業の目標（めあて・ねらい）を示して指導していると思いますか。



18　特別活動の充実

子どもたちは、友だちと協力して行事や生徒会活動、ボランティア活動などに参加することができていると思いますか。



○「心の教育の充実」について、保護者の肯定的評価の割合が増加し、三者ともに９割を超えている。人権教育・道徳教育を基盤とした教育活動を継続して行っており、日頃からの各学年での道徳の授業改善の取組を通して、心の教育の充実の意義が教職員に浸透していることも数値から見て取れる。
○「教科学習の充実」については、生徒の「４」の数値が年々増加している。ＩＣＴの活用も含めて、生徒がわかりやすく主体的に取り組む授業づくりを目指して、今後も授業改善に取り組んでいく。
○「特別活動の充実」に関しては、感染対策に配慮し、できるだけ行事を実施する努力を行った。生徒の気持ちや考えを尊重し、生徒自ら企画立案した主体的な取組を今後とも支援していきたい。

来年度の具体的な取り組みについて

○来年度も引き続き、学校教育目標の視点で教育活動を見直し、生徒の自己実現を図るために保護者・地域・関係機関等と連携して組織的に粘り強く指導する学校を目指す。
○授業改善や評価の見直しに継続的に取り組む。また、主体的な学習ツールとしてのＩＣＴの効果的な活用を研究していくとともに、配慮が必要な状況の子どもの基礎基本の定着を図る等、個に応じた学習のさらなる徹底を図る。
○熊本市学力検査による学力を多面的に分析し、生徒へのきめ細やかな指導の工夫改善に努める。また、その分析により、授業の改善につなげる。
○生徒が心身ともに健康な生活を送ることができるように、より一層の指導の工夫に努める。また、ＳＣやＳＳＷと連携して相談活動の充実を図り、一人一人の思いを大切にした指導や対応の充実に努める。
○小学校、ＰＴＡや地域の諸団体と連携しながら基本的生活習慣（あいさつ・返事・聞く姿勢・言葉遣い）・学習習慣などの規範意識を育てる指導の徹底を図る。
○新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、学校行事等をさらに充実させ、心身共に健康な生活を送れるように、より一層の工夫に努める。
○これまでのコロナ禍による活動制限や行事縮小、小学校の部活動廃止等の影響を配慮した健康・体力づくりの視点に立った、保健・体育・食育・安全教育のより一層の取組を行う。
○ＰＴＡや青少協等の地域の諸団体と連携しながら地域行事等を実施し、それらを通して地域貢献を含めた挨拶、マナーなどの規範意識を育てていく指導の徹底を図る。子どもたちの健全な成長を願い活動されている地域の方の願いや思いをしっかりと受け止め、連携・協力を図っていく。
○学校のさまざまな取り組みについて、学校HPやＰＴＡ新聞等のあらゆる機会を通じて発信を行い、本校の教育活動に対する理解を深めていただけるよう努める。

学校関係者評価

○学校評価については、先生方の思い、保護者・生徒の思いにあまり差がないようでうれしく思う。生徒たちの自主性・積極性を引き出すのは大変だと思うが、中学校の３年間が先々の子どもたちの生活に大きな影響を与える時期であることを心にとめていただき、今後もご指導をお願いしたい。
○子ども同士のトラブルはあるがそれが不登校につながるような傾向は見受けられない。適切な指導、一人一人を大切にする指導の様子が伺える。引き続き、適切な指導と「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育の取組が実践されることを願う。
○先生方の授業力向上への取組が、「わかる授業、楽しい授業」につながっており、それをしっかり受け止め、こたえる生徒の姿がみてとれる。今後も子どもたちと一緒に「わかる授業、楽しい授業」の実践と学力向上に努めてほしい。
○学校の教育目標・方針について、保護者の理解が進んでいるという結果は、学校運営にとって大きな支えになると思う。保護者との日頃の連携はすべてにおいて大切である。
○コロナ禍のマスク生活で、表情が見えにくいところもあるが、１年生も挨拶が上手になってきた。TPOに合わせた会釈などの挨拶も含め、挨拶の指導を引き続きお願いしたい。
○行事を大切に継続し、開かれた学校づくりをさらに進めてほしい。